

令和 5 年度 感染症発生動向調査事業関連のウイルス検査結果

保健科学課 ウイルス担当

福岡市保健環境研究所では平成 4 年から福岡県結核・感染症発生動向調査事業に参加しており、現在、8 医療機関 9 病原体定点を対象に検査を行っている。表 1 に臨床診断名別ウイルス検査結果を示す。

令和 5 年度、病原体定点より採取された検体は、41 名、72 検体であった。患者数、検体数ともに無菌性髄膜炎が最も多かった。

表 1 令和 5 年度 臨床診断名別ウイルス検査結果

臨床診断名	患者数	検体数	陽性数	検体	検出ウイルス(株数)
インフルエンザ	15	15	15	咽頭ぬぐい液	インフルエンザ A/H1pdm09 型(7), インフルエンザ A/H3 型(4), インフルエンザ B/Victoria 系統(4)
咽頭結膜熱	1	1	0	咽頭ぬぐい液	
感染性胃腸炎	3	7	2	咽頭ぬぐい液 血液 糞便	A 群ロタウイルス(1), サポウイルス(1)
手足口病	3	6	1	咽頭ぬぐい液 血液 糞便	エンテロウイルス 71 型(1)
突発性発しん	2	5	0	咽頭ぬぐい液 血液 糞便	
ヘルパンギーナ	4	10	0	咽頭ぬぐい液 血液 糞便 喀痰 その他	
無菌性髄膜炎	12	27	16	咽頭ぬぐい液 血液 髄液 尿 糞便 喀痰	コクサッキーB2 型(1), コクサッキー B4 型(1), コクサッキーB5 型(1) コクサッキーB2 型(1), コクサッキー B4 型(1), コクサッキーB5 型(5) コクサッキーB2 型(1), コクサッキー B5 型(3) コクサッキーB5 型(2)
RS ウイルス感染症	1	1	1	咽頭ぬぐい液	RS ウイルス(1)
計	41	72	35		

表 2 に月別、検査法別ウイルス検出状況を示す。ウイルスの検出は細胞（RD-18S, VeroE6, HEp-2, Caco-2,

MDCK）培養，PCR 等で行った。その結果，35 株のウイルスを検出した。検出率は 48.6%であった。

表 2 令和 5 年度 検体採取月別及び検査法別ウイルス検出状況

検出ウイルス	検体採取月別ウイルス検出状況													検出数	検査方法別				
															ウイルス検出状況				
															組織培養法 ※ PCR				
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		R	V	H	C	M	
A 群ロタウイルス	1												1					1	
サポウイルス		1											1					1	
インフルエンザ A/H1pdm09 型						1	1	1	4				7				7	2	
インフルエンザ A/H3 型								3				1	4				4		
インフルエンザ B/Victoria 系統									1	3			4				4		
コクサッキーB2 型									3				3		2		3	3	
コクサッキーB4 型					2								2	2	1	2	2	2	
コクサッキーB5 型			3	8									11	8	5	9	8	8	
エンテロウイルス 71 型						1							1					1	
RS ウイルス												1	1	1		1			
計	1	1	3	8	2	2	4	4	5	3	1	1	35	11	8	12	13	15	18

※ 細胞名の略称 R: RD-18S, V: VeroE6, H: HEp-2, C: Caco-2, M:MDCK